

令和5年7月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,981億円（対前年同月比1.8%の減少、比率ベース：2ヵ月連続の減少）、輸入総額は1,060億円（同5.1%の減少、4ヵ月連続の減少）であった。差引額は921億円（同2.3%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「自動車の部分品」、「重電機器」などが増加したものの、「船舶類」、「プラスチック」、「二輪自動車類」などは減少した。

輸入は「液化天然ガス」、「金属鉱及びびくず」などが増加したものの、「がん具及び遊戯用具」、「魚介類及び同調製品」、「無機化合物」などは減少した。

地域別では、輸出は「アジア」、「アメリカ」が減少、「EU」は増加した。輸入は「アジア」が減少、「アメリカ」、「EU」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,981億円	▲1.8%	1,060億円	▲5.1%	921億円	+2.3%
	2ヵ月連続の減少		4ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	204億円	+44.1%	輸入	増加品目	(1) 液化天然ガス	86億円	+39.7%
		(2) 重電機器	69億円	+52.7%			(2) 金属鉱及びびくず	26億円	10.0倍
		(3) 原動機	322億円	+3.4%			(3) 科学光学機器	28億円	3.7倍
	減少品目	(1) 船舶類	4億円	▲85.2%		減少品目	(1) がん具及び遊戯用具	14億円	▲68.4%
		(2) プラスチック	46億円	▲30.7%			(2) 魚介類及び同調製品	122億円	▲19.5%
		(3) 二輪自動車類	160億円	▲8.2%			(3) 無機化合物	2億円	▲91.2%
主要地域増減	アジア、アメリカが減少、EUは増加				主要地域増減	アジアが減少、アメリカ、EUは増加			

（参考）ドルレートは、142.32円（前年同月比4.6%、6.27円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	8億円	+47.6%	34億円	▲42.6%	▲26億円	▲51.2%
	2ヵ月ぶりの増加		2ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 金属鉱及びくず	101百万円	全増	輸入	増加品目	(1) とうもろこし	26億円	+8.5%
		(2) ポンプ及び遠心分離機	83百万円	全増			(2) 魚介類及び同調製品	188百万円	2.5倍
		(3) 有機化合物	54百万円	47倍			(3) 有機化合物	440百万円	+9.2%
	減少品目	(1) 写真用・映画用材料	201百万円	▲23.3%		減少品目	(1) 石炭	—	全減
		(2) 無機化合物	27百万円	▲55.0%			(2) パルプ	85百万円	▲57.6%
		(3) 金属製品	9百万円	▲33.1%			(3) 無機化合物	52百万円	▲68.0%
主要地域増減	アジア、アメリカが増加、EUは減少				主要地域増減	アジア、EUが減少、アメリカは増加			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	354億円	+30.2%	22億円	▲15.4%	333億円	+34.9%
	10ヵ月連続の増加		2ヵ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	192億円	+65.1%	輸入	増加品目	(1) 精油・香料及び化粧品類	13百万円	2.4倍
		(2) 楽器	35億円	+21.1%			(2) 自動車の部分品	6百万円	7.4倍
		(3) 自動車の部分品	45億円	+9.0%			(3) 加工油脂及びろう	3百万円	全増
	減少品目	(1) 運動用具	36百万円	▲95.7%		減少品目	(1) 鉄鋼	5億円	▲50.1%
		(2) 無機化合物	11億円	▲17.5%			(2) 調製石油添加剤	—	全減
		(3) 原動機	8億円	▲15.2%			(3) 染料・なめし剤及び着色剤	—	全減
主要地域増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少				主要地域増減	アジア、アメリカが減少、EUは増加			

4. 静岡空港

輸出入実績なし